



福井の名所探訪②③

らっきょう畑 (坂井市)

福井市と三国にまたがる三里浜砂丘地に広がるらっきょう畑。10月下旬から11月中旬になると、海岸線一面に見事ならっきょうの花が咲きます。このすばらしい景観は、三国の晩秋の風物詩のひとつでもあります。足かけ3年かけてらっきょうを栽培する三里浜砂丘地は全国一（全国生産 約80%）のらっきょう産地です。

理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 最善の医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 患者様の意思に反する処置・治療
- ⑤ 十分な説明を受ける権利
- ⑥ 情報開示を求める権利
- ⑦ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑧ 健康教育を受ける権利
- ⑨ 個人の尊厳を守る権利
- ⑩ 宗教的支援を受ける権利
- ⑪ 退院後も治療や福祉を受ける権利
- ⑫ より良い環境で治療を受ける権利
- ⑬ 通信・面会を自由に行う権利
- ⑭ 退院や処遇改善の請求を行う権利



すこやか講座

認知症ってなんだろう？

年をとると、誰もが人の名前をすぐに思い出せなくなったり、物をどこにしまったか忘れてしまうものです。認知症とは、そのような加齢によるもの忘れとは違い、正常だった脳の働きが徐々に低下する病気です。数分前、数日間の出来事を思い出せない、新しいことを憶えられない、日付や曜日が分からない、言葉がなかなか出てこない、仕事の要領が悪くなる、道具や家電製品を上手く使えないなどの困難が生じて、以前のように日常生活を上手く送ることができなくなります。認知症がどんな病気かを知ること、認知症の本人への対応の仕方や介護に対する理解が深まります。

〈主な認知症の種類と特徴〉

根本的な治療が困難な認知症

【アルツハイマー型認知症】

- アミロイドβというタンパクが脳に蓄積して、神経細胞が減少し、脳の萎縮が進行する病気
- 記憶障害が徐々に進行し、日付や曜日が分からなくなり、仕事の要領が悪くなる
- 症状は緩やかに進行する

【レビー小体型認知症】

- レビー小体というタンパクが脳に蓄積する病気
- 調子の良いときと悪いときの変化が大きい
- 実際には存在しないものや人物が見えるという幻覚（幻視）、人物誤認、動作が鈍い、転びやすいなどの症状が徐々に進行する

【前頭側頭型認知症】

- 前頭葉と側頭葉の萎縮が徐々に進行する病気
- 同じ行動を繰り返す、自分勝手な行動をとる、言葉の意味が分からなくなる、言葉が出なくなる
- 65歳未満で発症することが多い

進行を遅らせる治療（対症療法）



予防や治療が可能な認知症

【血管性認知症】

- 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などの脳卒中が原因で起こる病気
- 脳卒中後遺症の歩行障害や言語障害を呈することが多い、仕事の要領が悪くなる
- 脳卒中を繰り返すとそのたびに悪化する
- 脳卒中の再発予防により進行を抑制できる

【正常圧水頭症】

- 脳脊髄液が脳室にたまり、脳室が拡大して周囲の脳が圧迫されて起こる病気
- 歩行障害や尿失禁がみられる
- 髄液シャント手術で改善する

【慢性硬膜下血腫】

- 頭蓋骨直下の硬膜と脳の間に血腫（血のかたまり）が生じて、血腫が脳を圧迫して起こる病気
- 頭を打った後に起こることが多い
- 血腫吸引手術で改善する

【甲状腺機能低下症】

- 新陳代謝を高める作用のある甲状腺ホルモンの分泌量が不足して、からだの活動力が低下する病気
- 居眠り、記憶障害などの症状が目立つ
- 甲状腺ホルモンの補充で改善する

原因となる病気を治療

認知症は、何らかの原因で脳の働きが低下することによって起こる病気ですが、薬や手術によって予防や治療が可能な認知症と、現時点では根本的な治療法がまだ開発されていない認知症があります。「アルツハイマー型認知症」や「レビー小体型認知症」は、変性疾患と呼ばれ、脳の神経細胞の数が徐々に減少する病気です。根本的な治療法はありませんが、薬によって症状の進行を遅らせることは可能です。認知症の種類によって、症状の現れ方や治療方法はそれぞれ異なりますが、いずれにせよ、早い段階で診断を受けて、適切な治療を開始することが大切です。

家族は今…

穏やかな笑顔

M・K

福井県立すこやかシルバー病院の東病棟に92歳の母が入院させて頂きまして4か月がたちました。実のところ認知症での入院は鍵をかけて治療されていると聞いていましたので、漠然と母の心が辛くなるのではと思い込んでいましたので、入院だけは避けたいと思っておりました。ところがケアマネージャーさんから、すこやかシルバー病院に入院後、穏やかになられた方がおられると教えて頂いたこともあり、2回目の通院で入院させて頂く事になりました。

入院させて頂いたものの、母の顔を見るまではとても心配でした。初めての面会に出かけた時、穏やかな笑顔の母に会わせて頂くことが出来たので、本当に驚きました。入院前は混乱して険しい顔の母でしたので、思いがけない事でした。母の穏やかな笑顔に感謝の心を頂くことが出来たので、ほっとして帰宅させて頂きました。母にとっても家族にとっても良縁を頂き、入院させて頂いたと感じさせて頂きました。

母の診察をして頂いています院長先生はじめ、介護して下さるスタッフの心温まるケアにより親近感を感じることで、安心して落ち着いた日常生活を過ごさせて頂いていますことに感謝しております。母の笑顔を楽しみに洗濯物を持って面会させて頂く事も本当に有難い事です。

これからもどうぞ宜しくお願い致します。



すこやか探検隊

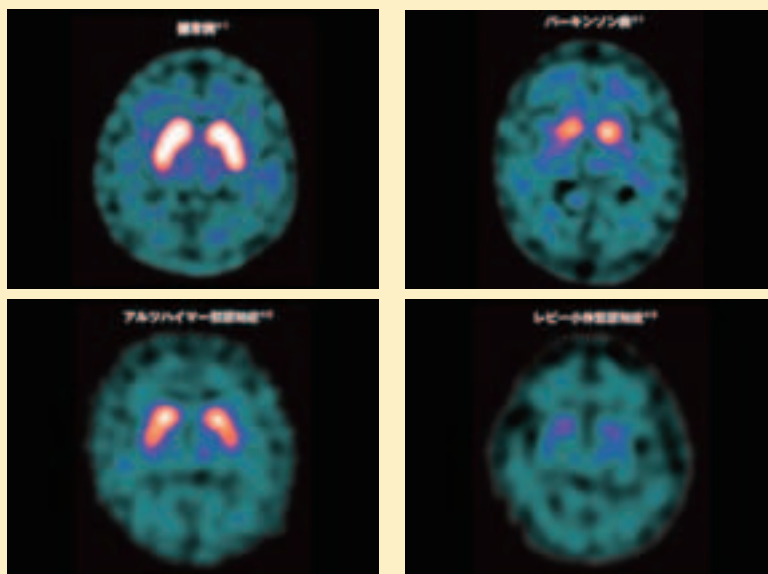
ドパミントランスポーターシンチグラフィ (ダットスキャン静注[®])を導入しました

ダットスキャン静注[®]とは、パーキンソン症候群及びレビー小体型認知症（DLB）の診断目的に開発された診断薬です。レビー小体型認知症の検査は従来MIBG検査が行われてきましたが、新たにダットスキャン静注[®]検査が2014年より本格的に運用されるようになりました。当院も現在4件実施されて診断向上に寄与しています。

認知症にはいくつかの種類があり、その中でアルツハイマー病・レビー小体型認知症は、よく知られている認知症です。異なるタイプの認知症でも同じような症状をもっていることが多く、どのタイプの認知症か判断できないことがあります。症状が同じでも原因はそれぞれ違うので、治療法を決める上でもどのタイプか知ることは非常に大切です。この診断薬を使うことによって、アルツハイマー型認知症とレビー小体型認知症の区別がつけやすくなります。

どのような検査？

私たちが体を動かそうとすると、脳の大脳皮質から全身の筋肉に運動の指令が伝わり、意図どおりに体が動くように、運動の調節を指令しているのが神経伝達物質のドパミンです。ドパミンは脳の奥の黒質にあるドパミン神経でつくられ、線条体というところに送られますが、レビー小体型認知症やパーキンソン症候群になるとドパミン神経が減少し、全身への運動の指令がうまく伝わらなくなり体の動きに障害が現れます。このドパミン神経のドパミン量を調節する部分（ドパミントランスポーター）の減少変化を画像でとらえます。これには放射性医薬品を注射後（3～6時間）、ガンマカメラで検査を行います。



※1：順天堂大学医学部附属順天堂医院ご提供

※2：東京医科大学病院ご提供

※3：順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センターご提供 〈ダットスキャン静注[®]リーフレットより抜粋〉

The 病棟



スイカ割り



エイッ!!

病棟の畑で取れた小さな小玉スイカと、購入した大玉スイカでスイカ割りをしました。いつもはおしとやかな患者さんも、「エイッ!!」と勇ましい掛け声でスイカを叩かれていました。スイカ割りが終わった後は、みなさんで美味しく頂き、夏の季節を味わいました。



あはははっ



甘いよ〜



敬老の日 行事食



おしながき

- 🍁 赤飯
- 🍁 秋鮭の紅葉焼き
- 🍁 エビと野菜の炊き合わせ
- 🍁 菊花和え
- 🍁 松茸風味のお吸い物
- 🍁 秋の果物盛り合わせ

食べる楽しみや入院生活に潤いを感じていただけるよう、行事に合わせた季節感のあるお食事を提供しています。



赤飯はうるち米でやわらかく仕上げ、果物の巨峰は一つ一つ丁寧に皮を剥き、食べやすくしました。秋の味覚をたくさん取り入れた献立で、敬老の日をお祝いました。



福井県食品衛生自主管理プログラム認証制度

平成27年9月に3回目の更新をしました。
これからも、安全で美味しく食べやすい食事の提供を目指します。



デイケアだより

5月 ほお ば めし 朴葉飯& きなこラスク作り

今年は利用者さんのご自宅の石臼をお借りして、きなこを挽きました。初めは使い方がわからず四苦八苦しましたが、最終的には美味しいきなこに仕上がりました。廊下まで香ばしい香りが漂っていました。

後日、そのきなこを使って朴葉飯ときなこラスクを作って味わいました。



朴葉飯



きなこラスク

6月 み な づ き 水無月作り

1年のちょうど折り返しにあたる6月30日は水無月という和菓子を食べる日だそうです。京都でよく食べられており、この半年の穢れを祓い、残り半年の無病息災を祈願するための神事が行われるそうです。

水無月は白いういろ生地に小豆をのせ、三角形に切られたお菓子です。小豆は悪魔ばらいの意味があり、三角形は暑気を払う氷を表しているといわれています。利用者さんたちにも、今年の残りを元気に過ごしていただきたいと思います。



水無月

8月 コカリナ コカリナ演奏会& そば打ち



コカリナ

8月6日(木)に、今年もコカリナアンサンブルの皆さんをお招きし、演奏会を開催しました。今年で3回目になりますが、慣れ親しんだ曲が多く、自然と口ずさむ利用者さんが多かったです。

音色も心地よく、利用者さんだけでなく職員も癒しのひとときでした。

8月28日(金)には当院栄養管理室との共催により、市内の県立高校ボランティア部の皆さんのご協力も得て、そば打ちを開催しました。全国高校生そば打ち選手権大会に出場されただけあって本格的なそば打ちで、間近で見ながら懐かしがる利用者さんもおられました。

できあがったそばは、当日の昼食としていただきました。おろしやとろろなど、お好みの薬味で美味しそうに召し上がっていました。

ボランティアの皆さん



できあがり♡

ここあ 心愛日記

早いもので、心愛がオープンして2年が経ちました！

毎週たくさんの利用者さんが来られ、わいわいにぎわっています。

おなじみの利用者さんは毎週再会を楽しみに来られています。



毎回、いろんなものの作成に励んでいます



毎週、たくさんの
利用者さんで
にぎわってます♡



利用者さんのご家族の作品



2周年を記念して、
みなさんでケーキをつくりました
おいしかったです(^_^)

ここあ
認知症カフェ 心愛

毎週土曜日
10:00～15:00

福井市湊3丁目1010 ループやしろビル1F Tel.(0776)98-2700



平成27年度 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

ケア専門職の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
認知症の症状と治療	11月6日(金)	10時～12時20分(9時30分から受付)	● 認知症の症状と治療 ● 認知機能検査について	50名
認知症の基礎知識(初任者向け)	11月6日(金)	13時30分～16時40分(13時から受付)	● 認知症の基礎知識、ケアの理解 ● 事例検討	50名
認知症の原因疾患別ケア	11月10日(火)	9時30分～12時30分(9時から受付)	● 認知症原因疾患別ケア ● グループワーク	50名
認知症の進行段階別ケア	11月10日(火)	13時30分～16時40分(13時から受付)	● 認知症進行段階別ケア ● 事例検討	50名
高齢者の世界を体験しよう	11月20日(金)	10時～16時50分(9時30分から受付)	● 高齢者の特徴と合併症 ● 高齢者疑似体験(演習)	50名
認知症高齢者への作業療法	2月26日(金)	13時30分～15時(13時から受付)	● 認知症高齢者への作業療法 ● 演習	50名
高齢者への排泄援助とスキンケア	3月4日(金)	13時30分～16時(13時から受付)	● 高齢者への排泄援助とスキンケア ● 認知症高齢者への排泄援助の実践	50名
高齢者への食事援助	3月11日(金)	9時30分～12時(9時から受付)	● 高齢者への食事援助のポイント	50名
高齢者への口腔ケア	3月11日(金)	13時～15時30分(12時30分から受付)	● 高齢者の口腔ケア ● 認知症高齢者への口腔ケアの実践	50名
事例検討(認知症高齢者症例)	3月18日(金)	13時30分～16時(13時から受付)	● 認知症高齢者の対応について事例検討	40名
せん妄、うつ状態に対するケア	3月25日(金)	13時30分～16時30分(13時から受付)	● せん妄、うつ状態の特徴、背景、ケア	70名

ケア専門職の方を対象にした実習 実習場所／福井県立すこやかシルバー病院 認知症デイケア

実習名	開催日	実習時間
デイ・ケア実習	11月24日(火)～25日(水) 2日間	実習1日目: 9時30分～16時(午前9時から受付) 実習2日目: 10時～17時

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700

福井県立すこやかシルバー病院 20周年記念講演会

参加無料

日時 平成27年12月5日(土)14:00～17:00

会場 福井県生活学習館(ユ一・アイふくい) 多目的ホール

1部 講演

「脳と幸福 ～イキイキと生きるための秘訣～」

講師／茂木健一郎氏

2部 フォーラム

「これからの認知症 ～認知症早期受診をめざして～」

公益財団法人松原病院 代表理事 松原 六郎氏 福井県立すこやかシルバー病院 院長 伊藤 達彦
医療法人敦賀温泉病院 理事長・院長 玉井 顯氏 コーディネーター／福井テレビアナウンサー 福田布貴子氏

※お名前(フルネーム、漢字)と連絡先をお伝えください。定員700名に達し次第、申し込み受け付けを終了します。

申し込み

福井県立すこやかシルバー病院 〒910-3623 福井県福井市島寺町93-6
TEL (0776) 98-2700 Fax (0776) 98-2793



講師

茂木 健一郎氏(脳科学者)

1部講演内容

誰もが幸せを感じながら日々の生活を送りたい、人生を輝かせたいと願う。幸せについての探求は、脳科学の世界でも最新にしてホットなテーマである。一般の生活の中でいかにして幸せを得ながら、いつまでも脳を生きて保つ最良のアンチエイジングの秘訣を最新脳科学と自身の体験をもとに語る。